

てんえい

みんなの想いをつないで



第24回ふくしま駅伝の第1中継所にて
(後藤美稀選手から高嶋優選手へ)

目次

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ●てんえい元気祭..... P2~3 | ■村のできごと..... P8~9 |
| ●ふくしま駅伝..... P4 | ■そんみんな広場..... P11~12 |
| ●第5回「天栄米」食味コンクール..... P5 | ■くらしの情報..... P13~15 |
| ●羽鳥湖高原健康ウォーク／除染の取り組み..... P6 | ■行事予定カレンダー..... P16 |
| ●社会を明るくする運動作品コンテスト..... P7 | |

「てんえい元氣祭」

盛大に開催!!

復興に向け、村をひとつに



10月28日(日)から11月11日(日)の3週間にわたり、「てんえい元氣祭」が開催されました。

10月28日にへるすびあで行われた「てんえい健康まつり」では、らくらくエアロビクス体操やストリートパフォーマンスのナオコさんによるバルーン・アートショーが行われ、家族連れなど多くの来場者でにぎわっていました。また、総合農村運動広場を会場にした「生涯スポーツフェスティバル」ではスポーツ吹き矢やユニークな長靴飛ばしなど8種目などが行われ、初めて体験する種目に思い思いに興じていました。



また、文化講演会では俳優の笹野高史さんを講師に招き、「待機晩成 日本一の脇役が語る人生の美学」と題し、自身の俳優になるまでのエピソードなど、ユーモアを交えてお話しされ、客席からは笑い声が絶えませんでした。

また、文化講演会では俳優の笹野高史さんを講師に招き、「待機晩成 日本一の脇役が語る人生の美学」と題し、自身の俳優になるまでのエピソード

11月3日(土)と4日(日)の両日、天栄中学校を会場に陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊による演奏を皮切りに、子どもクイズ大会、みちのくボンガード、パチッコリンの爆笑ライブ、ふたまたぎつねをはじめとするゆるキャラショーや布施辰徳のものまねショーなどが繰り広げられ会場を笑いで沸かせました。



子どもクイズ王選手権のようす

さらに、午後5時から音楽とよさこい演舞の中、復興への願いを込めた祈願花火などが打ち上げられました。

4日は、天栄山黄金太鼓保存会による勇壮な演奏で幕を開け、小中学校の合奏、少年の主張、英語スピーチ、各種の表彰、地元「てんえい夢ソラン」をはじめ7団体によるよさこい演舞、ジャズフォー東北による演奏と続き、大抽選会で幕を閉じました。



湯本地区文化祭



11月10日(土)・11日(日)の両日、湯本体育館を会場に第37回湯本地区文化祭が開催されました。

「みんなが大きく輝く村・天栄」のテーマのもと、湯本地区のみなさんが丹精こめて育てた菊花・盆栽・山野草をはじめ、手工芸作品・文芸作品・書道作品・写真などが多数展示されました。また、湯本小中学校の学校活動が紹介された展示や、湯本分遣所・岩瀬湯本郵便局・羽鳥ダム管理所による展示も行われました。

11日(日)には、湯本保育所や湯本小中学校の学習発表が行われ、子どもたちは日頃の練習の成果を披露しました。午後には地区民による大正琴発表・芸能発表が行われました。さらに、特別企画として、



昨年12月に湯本地区の音楽好きの若者により結成された、湯本地区おこしバンド「五ツ星」によるコンサートも開かれました。アンコールではゆるキャラのふたまたぎつねや小中学生も加わって、会場をにぎやかに盛り上げ、客席は笑顔に包まれていました。

各部門の表彰者 (敬称略)

てんえい元気祭

◇菊花展

- ▽村長賞 〓 渡辺竹治
- ▽村議会議長賞 〓 内山義枝
- ▽教育長賞 〓 大河原政一
- ▽生涯学習課長賞 〓 圓谷 寛

- ▽農協天栄支店長賞 〓 大谷一忠

- ▽盆栽愛好会長賞 〓 内山義枝

◇高齢者作品展

- ▽赤十字社県支部長賞 〓 須賀 勤

- ▽赤十字社県支部県中地区長賞 〓 田村ツル子

◇少年の主張

- ▽特選 〓 渡部冨基、常松 桜

- 〓 川崎満広、小山師基
- 〓 山口麻佑、小山真梨

◇英語スピーチ

- ▽優秀賞 〓 木村勇太、森 真桜

◇発明工夫展

- ▽村長賞 〓 戸川大文
- ▽教育長賞 〓 宗方陽聖
- ▽福島民放社賞 〓 坪井雄大
- ▽福島民友新聞社賞 〓 大河原樹美

第37回湯本地区文化祭

◇菊花展、盆栽・山野草展

- ▽村長賞 〓 星 富子
- ▽商工会長賞 〓 星トク子
- ▽湯本温泉旅館組合長賞 〓 小椋友吉

- ▽岩瀬湯本郵便局長賞 〓 小山セツ子
- ▽湯本公民館長賞 〓 星 タリ

- ▽銀賞 〓 小山シゲノ
- ▽銅賞 〓 大竹芳友、星 恒美

◇高齢者作品展

- ▽村長賞 〓 小山一三
- ▽商工会長賞 〓 小椋友吉
- ▽観光協会長賞 〓 星 モト
- ▽湯本温泉旅館組合長賞 〓 星トク子

- ▽岩瀬湯本郵便局長賞 〓 長沼重子

- ▽銀賞 〓 星 スセ
- ▽銅賞 〓 小山トヨ子

◇女性作品展

- ▽教育長賞 〓 上野京子
- ▽二岐温泉旅館組合長賞 〓 坂本千鶴子
- ▽湯本支所長賞 〓 星 洋子
- ▽銀賞 〓 星 紀代子
- ▽銅賞 〓 中村純子

◇農林産物展

- ▽村長賞 〓 星 敏一
- ▽教育長賞 〓 星 敏子
- ▽すかがわ岩瀬農業協同組合天栄支店長賞 〓 小山タミ、星 トク子
- ▽観光協会長賞 〓 田代春昭
- ▽二岐温泉旅館組合長賞 〓 池田明美

- ▽湯本支所長賞 〓 星 早苗
- ▽湯本公民館長賞 〓 星 恒美

- ▽銀賞 〓 星 文雄、小椋友吉
- 〓 小山孝子

- ▽銅賞 〓 池田トヨ子、星 モト

天栄村チーム健闘



ゴールする幡谷原太選手

第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が11月18日（日）に開催されました。今大会は51市町村が出場し、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間をふるさとの誇りをかけ競い合いました。

今年の天栄村チームは選手全員が10代という非常に若いチームではありましたが、前回大会終了後から1年間厳しい練習を重ね大会本番を迎えました。

本番ではその若い力が晩秋の福島路で躍動し、総合38位、村の部7位、タイムが5時間54分38秒という成績を残しました。



interview

初めてのふくしま駅伝を終えて



第7区（5.4km）

森 裕毅
（天栄中学校2年）

区間 28 位

前日にサッカー部の試合があり、走る前はチームに迷惑をかけないか不安でしたが、沿道の声援のおかげで楽しく走ることができました。区間 28 位という結果は自分の想像以上だったので嬉しかったです。来年は中学生の中で最高学年になるので、心身共に成長し後輩たちを引っ張っていきたいです。



第15区（3.4km）

森 凜華
（天栄中学校1年）

区間 29 位

とても緊張しましたが、サポートの人が緊張をほぐしてくれて、とても楽に走ることができました。3.4kmは長く感じましたが、これからの練習でもっと長い距離に挑戦して、タイムを縮められるように頑張っていきます。

第5回

「天栄米」食味コンクール開催

11月3日（土・祝）、へるすぴあを会場に村内で生産されている米の現状把握と今後のさらなる品質向上を目的とする第5回「天栄米」食味コンクールが開催されました。

今年のコンクールには、村内の農家が生産した自慢の新米96点が出品され、機械による食味検査の1次審査を通過した15名の方がこの日の2次審査に臨みました。2次審査では、米食味鑑定士や関係

機関団体、天栄中の古金瑞穂さんと並木志帆さんら20名による官能（試食）審査が行われ、総合、品種栽培の両部門で金賞、優秀賞が決定しました。

また、会場では米の実売や金賞米予想投票、入賞米試食が行われ、来場者は「収穫の秋」を迎えた喜びを肌で感じていました。

第5回「天栄米」食味コンクール受賞者

（敬称略）

〔金賞〕

△総合部門（コシヒカリ）

鈴木源吉（西郷）、永山勇雄（中郷）、神尾忠（上松本）、須藤政孝（南沢）、瀬和元広（今坂）、斑目義雄（今坂）、牧野美久（小川）

〔優秀賞〕

△総合部門（コシヒカリ）

清水栄一（中郷）、岡部政行（上松本）、和田正博（大里中部）、町島一郎（今坂）、内山正勝（沖内）

△品種栽培部門（ひとめぼれなど）

池田栄（田良尾）



「天栄米」

国際大会で金賞に!!

11月22日（木）・23日（金・祝）、長野県木島平村で「第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催されました。

応募総数は3915点。北海道・新潟県・東北6県から唯一「国際総合部門」の最終審査41点に鈴木源吉さん（西郷）の「コシヒカリ」がノミネートされ、その中で最高賞の金賞15点に選ばれました。天栄米のおいしさを全国に証明することができました。

また、「小学校部門」では大里小学校3・4年生の「コシヒカリ」、湯本小学校5・6年生の「コシヒカリ」が特別優秀賞を受賞しました。

第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会

（敬称略）

〔金賞〕

△国際総合部門：鈴木源吉（西郷）

〔特別優秀賞〕

△小学校部門……大里小学校3・4年生
湯本小学校5・6年生



秋の羽鳥湖高原を楽しむ

2012羽鳥湖高原健康ウォーク開催!

10月27日(土)、羽鳥湖高原交流促進センターを会場に、2012羽鳥湖高原健康ウォークが開催されました。

この大会は、羽鳥湖高原健康ウォーク実行委員会(添田勝幸実行委員長)の主催で行われ、県内外から、約800名のウォーキング愛好者が参加しました。



参加者は、気持ちの良い秋晴れの中、豊かに色づいた羽鳥湖畔を12キロの羽鳥湖高原コースと7キロの羽鳥湖畔浮棧橋コースにわかれ、思い思いのペースで歩いていました。ゴール後には、黄金太鼓の演奏と、ふたまたぎつねのジャンケン大会のイベントや、ヤーコンカレーと田舎汁を味わい、秋の羽鳥湖を満喫しました。



除染の取り組み状況について

村では、放射線量が比較的高い地区を対象とした除染を進めるにあたり、除染の作業方法や作業に伴う放射線の低減がどのようになるかを検証するため、沢邸地区の8軒と集会所を対象として「モデル除染」を進めています。対象は、各家庭の屋根、壁、雨樋、犬走り、庭、駐車場や植木等です。また、住宅敷地の周辺の森林も対象としています。

まず、各敷地の建物の現況を調査し、対象場所の放射線量の測定後、担当職員等が各世帯にお伺いし、除染の打合せを行い、納得していただいたうえで実際に除染を行っています。

除染は国のガイドラインに定められた方法により実施し、放射線量を測定しながら進めています。



入賞作品決まる

社会を明るくする運動の一環として、村内の小・中学生を対象に、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりを進めるため、考えたこと、感じたことを作文・標語・ポスターなどに表現してもらった作品コンテストの審査が10月11日、役場で行われました。

村内の小・中学校から、作文34点、標語182点、ポスター15点の応募があり、各学校での一次審査を経た作品を、社会を明るくする運動の村推進委員会委員や各学校の先生方が審査を行い、優秀作品を選出しました。優秀作品は、てんえい元氣祭会場の天栄中学校体育館に展示されたほか、入賞者には、賞状と記念品が贈られました。また、応募者全員に須賀川地区保護司会から参加賞が贈られました。



【平成24年度“社会を明るくする運動”作品コンテスト入賞者】

		金賞	銀賞	銅賞		
作文	小学校	小山 師基 (湯本小6年)	川崎 満広 (牧本小6年)	須賀 大成 (大里小4年)	矢部 聖也 (大里小5年)	常松 桜 (大里小6年)
	中学校	並木 志帆 (天栄中2年)	小山 瑠梨 (湯本中3年)	北島 大樹 (天栄中2年)		
標語	小学校	石井 克佳 (広戸小6年)	小沼 宇宙 (大里小6年)	薄井 明香 (大里小5年)	鈴木 琳奈 (牧本小5年)	星 集人 (湯本小4年)
	中学校	小山 泰成 (湯本中2年)	内山 瑞稀 (天栄中2年)	並木 志帆 (天栄中2年)	小山 真梨 (湯本中2年)	星 幸奈 (湯本中2年)
ポスター	小学校	星 拓 (湯本小6年)	金子 真唯 (大里小6年)	須賀 大成 (大里小4年)	鈴木 悠 (牧本小6年)	星 ほのか (湯本小5年)

ご存じですか？ 税のこと



◆たばこ税の基礎知識

たばこ税とは、たばこ税法に基づき課せられる税金です。税が課せられるたばこは、大きく分けて3種類に分けられ、私たちがよく見るたばこは、「喫煙用の製造たばこ」という部類に入ります。また、同じ「喫煙用製造たばこ」の中にも、旧3級品（わかば、エコー等）といった種類のたばこもあります。

◆たばこ税の歴史

たばこ税が開始されたのは、1898年（明治31年）にまで遡ることになります。このころは、日清戦争の真つ最中であり、多額の軍事費を費やした政府が財源を得るために課せられたのがきっかけになります。

◆たばこ税の内訳

たばこ税というのは、「国たばこ税」のことを指しますが、たばこを買った場合、①国たばこ税、②たばこ特別税、③道府県たばこ税、④市町村たばこ税、⑤消費税を支払っていることとなります。

410円のたばこを買った場合には、国たばこ税106・04円（25・9%）、地方たばこ税122・04円（29・9%）、たばこ特別税16・4円（4%）、「消費税19・52円（4・8%）」となります。

たばこ購入費のうち64・5%。金額にすると264円が税金となります。

たばこは村内で買いましょう!!

お問い合わせ先：税務課 課税係 ☎82-2116 収税係 ☎82-2112

読み聞かせサミット2012 in 天栄



11月4日(日)、10日(土)、11日(日)の3日間、村生涯学習センターで「読み聞かせサミット2012 in 天栄」および第8回読み聞かせボランティア大賞表彰式が開催されました。

村内の読み聞かせグループ「聞いてみらんしよの会」や群馬県立長野原高校図書委員会の生徒による手作りの大型絵本の読み聞かせが行われ、参加した子どもたちは絵本の世界観に浸り、楽しい時間を過ごしました。

最終日には読み聞かせボランティア大賞の表彰式が行われました。

健やかな成長を願い「子宝祝金」贈呈式



11月9日(金)、天栄村役場庁議室で子宝祝金贈呈式が行われ、8組(第2子3組、第3子4組、第4子1組)に祝金と記念品が手渡されました。

この制度は、村の少子化対策の一環として、第2子以降のお子さまをもうけた方に贈呈されます。なお、支給要件は、本村に住所があり、かつ住居しているお子さまの父母等で、お子さまが誕生後、引き続き1年以上本村に住所があり、1人以上の兄弟と同居していることとなっています。

教育行政懇談会開催



平成24年度の教育行政懇談会が11月14日(木)、文化の森てんえいで開催されました。これは各学校等における教育行政の取り組み状況について話し合う会として毎年開催されているもので、体験学習や各種研修会、児童育成に関してそれぞれの学校等から話題の提供があり、懇談を行いました。



平和を願い戦没者追悼式開催



11月8日(木)、文化の森てんえいで戦没者追悼式並びに慰霊祭が行われ、戦没者の遺族など約40人が恒久の平和を祈りました。

遺族を代表して鈴木優子さんが、英霊324の御柱に対し、追悼の言葉を述べ、参列者の皆さんは戦没者へ追悼と平和を祈り、献花をしました。



優秀賞を受賞! 火災予防絵画・ポスターコンクール表彰



須賀川地方広域消防本部の火災予防絵画・ポスターコンクールで天栄幼稚園の渡部真央さん、湯本小学校の小山海斗くん計2名の火災予防の作品が見事優秀賞を受賞し、11月15日に村長室にて受賞の報告をしました。

火の用心!! 天栄幼稚園幼年消防クラブ火災予防パレード



秋季全国火災予防運動初日の11月9日(金)、天栄幼稚園幼年消防クラブが火災予防の呼びかけを行いました。
法被を身にまとった園児たちは、村長らの挨拶に対し元気な声を響かせました。代表の園児が「絶対に火遊びをしません」と誓いの言葉を述べた後、年長組によるリズム発表のアトラクションがありました。その後、園庭で「火の用心! マッチ1本火事のもと」と呼び掛けながら元気にパレードを行いました。

第41回 湯本地区職域親善バレーボール大会開催



優勝した「平和郷チーム」

10月23日(火)、湯本体育館で湯本公民館主催の第41回湯本地区職域親善バレーボール大会が開催されました。
この大会は毎年湯本地区の団体から多くの参加があり、お互いに親睦を深めることや健康増進を目的としており、今年度は全8チームが出場しました。
多くのチームがフルセットまでもつれ込む激戦を繰り広げ、平和郷チームが優勝をおさめました。

地域拡大保健委員会開催



11月7日(水)、文化の森てんえいで地域拡大保健委員会が開催されました。「村の児童生徒の健康課題とその解決に向けて」と題し、保育所、幼稚園、各学校の関係者から健康診断の結果や歯と口の健康に関するアンケートの結果をもとに、それぞれの立場から協議検討しました。さらに、学校歯科医からは「保育所から中学校まで連携した健康・保健教育に努めてほしい」と指導助言を受けました。

第34回少年の主張福島県大会 小山 真梨さん (湯本中2年) が発表!!

9月21日(金)に伊達市ふるさと会館で行われた「第34回少年の主張福島県大会」では、県内中学生12,331名(192校)という多数の応募の中から、発表者15名のなかに小山真梨さん(湯本中2年)が選ばれ、豊かな自然と伝統が受け継がれている湯本地区の良さを発表しました。

守りたいもの 〜未来のために〜

福島県天栄村立湯本中学校
二年 小山 真梨



暗闇の中に無数の光が舞っていた。ホタルだった。初めてホタルを見たのは小学校二年生の時のことだ。近くの水田を見に行った時に出会った。ホタルを知らなかった私は、はじめ、暗闇の中に浮かぶ光が何かわからなかった。その光がホタルだと知った時、私はドキドキした。それは不思議な感情だった。そしてホタルはどこにでもいるようなものではないということを知った。自然がたくさんある湯本だからこそなのだ。

ホタルが棲むには、澄んだ水と農薬を使わない水田が必要である。湯本の水田では、昔から無農薬法でお米が栽培されている。ホタルたちは、湯本の自然が生み出した清らかな水と、地域の人たちが行っている無農薬法によって、自然に集まってきたのだ。清らかな水をつくりだす原点となっているのは、湯本のブナの森であ

る。森にはとてもおいしい豊富な水が蓄えられていて、ホタルたちが暮らす水辺を作ってくれている。湯本のすこいところは、これらを自然がつくり出したということだ。全国各地でホタルの里づくりが行われているが、それらの中には他の土地からホタルを持ってきて放流するというやり方を行っている所もある。しかし、それらの活動は自然破壊につながっているのだ。ホタルにも縄張りはある。それを勝手に移動させてしまえば、自然の生態系を人間の手で壊していることになるのだ。湯本のホタルの里は、それを一切していない。ただ草を刈り、田に水を張っているだけだ。ただそれだけでホタルは自然と増えていくのである。人間が手を加えてきた自然ではなく、自然そのものの力で。これこそが自然の本来あるべき姿なのではないだろうか。ホタルは今では湯本の夏の風物詩であり、私たちの誇りとなっている。

湯本には誇れるものが他にもある。それは伝統あるお祭りだ。一つは馬頭観世音祭である。正確にはわからないが、このお祭りは江戸時代前からあるお祭りだといわれている。講堂の中の馬頭観音像にいたっては、鎌倉時代からあると考えられている。そんな歴史あるお祭りが、湯本の土地に残っているのだ。馬頭観音とは、昔の人々の生活において大きな役割を果た

していた馬、家族の一員のような存在だった馬の成長や無病息災を願うと共に、苦勞を共にした馬への供養をこめたものである。今では当たり前に行われている稚児行列と神輿かつきはもとからあるものではなく、時代の変化により新しく加えられたものである。このように馬頭観世音祭は時代の変化と共に少しずつ変わってきているが、お祭りそのものは私が生まれるずっと前から人々の手によって受け継がれてきているのである。

もう一つはきゅうり天王祭である。きゅうり天王祭は、戦前から行われており、とても伝統あるお祭りである。きゅうり天王様とは、農事の神様であり、神輿をかついだり、境内で火を焚いてきゅうりを供えたりして豊作を祈願する。お年寄りから小さい子供まで地域の全ての人々が参加するお祭りで、毎年大変にぎわっている。しかし、最近は子どもや青年の数が減ってきており、続けていくのがだんだんと厳しくなってきている現状もある。

私は、きゅうり天王祭や馬頭観世音祭ほど、地域の人達が一体となった温かいお祭りはないと思う。日本には多くの有名な素晴らしいお祭りがある。しかし、最近では観光客を呼び、利益を得ることが目的となってしまうものもある。それらは、お祭り本来の目的が見失われているように感じ

る。湯本のお祭りは利益を得ることを目的としない。地域のための祭、自分達のための祭なのだ。それが、湯本のお祭りの魅力であり、とても価値のあることだと私は思う。あなたの地域では、このようなお祭りがまだ行われているだろうか。ほとんどが、少子化や人間関係の希薄化などによって、地域の行事が廃れてしまっているのではないか。私はこれらの行事は、無くなってしまう地域宝物であると考えている。なぜなら、お祭りは地域が団結する場だからだ。人は一人では生きてはいけない。人と支え合っていないといけない。そんな時、お祭りは人と人をつなげる力となってくる。一緒に楽しむことで、絆が生まれる、そんな場所となってくる。私はそんなすばらしいものを無くしてはいけないと思う。

いつも何気なく過ごしている地域の自然や伝統について深く考えてみて、改めてその大切さや行われている意味を知ることができた。伝統や自然を守るのは大事だ。でも一人の力だけでは守るのにつか限界がきてしまう。地域の人との絆を深め、みんなで湯本の伝統や自然を守っていききたい。また、これらを守っていく意味や思いも一緒に受け継いでいきたい。そして、次の世代にも自分達の手で伝えていきたい。



さとう なるあ
佐藤 愛彩ちゃん
 「介護士」

かね こ そう
金子 想くん
 「サッカー選手」

さかもと あき
坂本 亜希ちゃん
 「お花屋さん」

うすば りゅうき
薄葉 龍生くん
 「警察官」

大きくなったら何になりたい？



TENEI
地域おこし協力隊



谷戸 英恵

10月・11月の週末は、天栄村でのイベントがたくさんあり、わたし自身も色んなところでお手伝いをさせて頂きました。緑のふるさと協力隊のときには、経験できなかった関わり方をすることで、新鮮な気持ちになるときもあります。特に、10月の半ばに岩瀬地方広域（天栄・須賀川・鏡石）で行った『福島「今、を撮ろう」バスツアー』では、天栄村の数箇所を観光協会の方と分担で、ガイドさせて頂きました。観光ガイドは、初の試みだったので緊張しました。つたないガイドになって大変恐縮でしたが、参加者のみなさんからは、たくさんの喜びの声をお聞きすることができました。こうしたイベントを通して、天栄村の魅力を自分自身も再発見でき、村を訪れる方々と共有できることをとても嬉しく思います。また、子どもたちと関わることも何度かありました。田んぼの学校や学習発表会、絆プロジェクト・元気祭などでたくさん関わることができました。教員経験があるのですが、やはり子どもたちの笑顔を見ると、パワーが漲ってくるような熱い気持ちになります。



岩瀬地方広域：
 バスツアー

バスツアー：やすらぎ橋前

羽鳥湖健康ウォーク：ふるまい

天栄米食味コンクール：炊飯

元気祭：ポケモンワークショップ

田んぼの学校：稲刈り

(ブログ)『天栄・玉手箱』：<http://ameblo.jp/tenei-tamatebako/>

村の文芸

天栄俳句会

季題「秋の風」

稜線の雲を洗いし秋の風

なか

秋の風背中にうけて鎌を研ぐ

ナツ

見上げればくづれゆく雲秋の風

英子

身にしみる^{よわい}齡となりぬ秋の風

栄子

秋風や旅ずき妻の若き頃

勝栄

紅葉して山の温泉よんでいる

静枝

あかのまま遠い思い出たぐり寄せ

トシ子

線量器くぐりて届く今年米

勝

ひと言

紅葉や黄葉の色鮮やかな良い季節ですが、朝夕の秋の風は少しつめたく爽やかな風となり暑さからそっとにげられた気分にもなりほっとするのではないでしょうか。

てんえい伝承 vol.9

「男神山の大天狗」

上松本北側の山並みのひとときわ目立つ、お椀を伏せたような山が妙見山である。往古は男神山（拝山）と呼ばれ、山頂には社殿がある。

昔、松本は貧しい村落であった。土地がやせ、どんな作物も育たず、収穫は年々減る一方で、土地に見切りをつけ、よそに移り住む者さえ出てきた。

困り果てた里人たちは、男神山にお祈りすることにした。山峡にそそり立つ男神山を仰いで、来る日も来る日も祈願を続けた。

それから月日が経ったある日、突然、空が曇り始め、墨を流したような恐ろしい空模様になった。そして、冷たい風が吹いたかと思うと、どこからか大きな天狗が男神山に現れた。天狗は対山の女神山にまたがると体を震わせ脱糞を始めた。里人たちは驚いて、ただ天狗の脱糞を見ていることしかできなかった。天狗は事を済ますと何事もなかったかのように、煙のように消えていった。

それ以来、松本の田畑は豊かな農地と変わり、収穫も倍増、他にはない豊かな里となった。

【お問い合わせ先】天栄村ふるさと文化伝承館
☎81-1030



文化の森てんえい vol.17

図書館だより

～新着図書紹介～

【一般図書】

- ・アラマタ大辞典 荒俣 宏
- ・女の脳・男の脳 田中富久子
- ・禁断の魔術 東野 圭吾
- ・震災離婚 三浦天紗子
- ・人生は短く、欲望は果てなし バトリック・ラベイル
- ・日本の駅 鉄道ジャーナル社
- ・話を聞かない男、地図が読めない女 アラン・ピース
- ・ハリー・ポッター映画大全 ポブ・マッケイブ
- ・編集ガール! 五十嵐貴久
- ・魔法使いは完全犯罪の夢を見るか? 東川 篤哉

～冬のおすすめ絵本～

- ・ふゆのようせいジャック・フロスト カズノ・コハラ
- ・ふゆじたくのおみせ ふくざわ ゆみこ
- ・おもちゃびじゅつかんのクリスマス デイヴィッド・ルカス
- ・ばすくんのくりすます みゆき りか
- ・ゆきだるまのノーぼうや ヒド・ファン・ヘセテン
- ・ゆきを知らないこねこのおはなし エリック・ローマン
- ・ゆきのひのホネホネさん にしむら あつこ

【年末年始における休館のお知らせ】

天栄村生涯学習センター文化の森てんえい及びふるさと文化伝承館は下のおり休館となります。これに伴い、各施設の利用及び予約も出来ませんのでご注意ください。皆様にはご迷惑をお掛けしますがご理解をお願いします。

【休館期間】

1. 文化の森てんえい
平成 24 年 12 月 28 日(金)～平成 25 年 1 月 3 日(木)
2. ふるさと文化伝承館
平成 24 年 12 月 28 日(金)～平成 25 年 1 月 4 日(金)
◆文化の森てんえい ☎82-2504

平成24年度 俳句ポスト年間賞

今年度、俳句ポストに投句された村内各学校の児童生徒の作品全 1,067 点から年間賞に選ばれた句を紹介します。

最優秀賞

● 星よりも輝くものは努力汗

天栄中二年 後藤 佑貴

優秀賞

● ほたるたち夜道をそっと照らしてる

牧本小五年 北畠 優花

● お月さま見てたらうさぎでてきたよ

湯本小三年 星 瞳月

● ツバメはね子育てじょうずなお母さん

大里小五年 吉田 紗

入賞

● さくらんぼ姉妹そろって赤い顔

広戸小六年 内山 優衣

● うぐいすも練習するんだがんばって

広戸小四年 圓谷眞実子

● 入道雲兄弟そろって背伸びする

大里小六年 小沼 宇宙

● おにやんまえものを見つけ風を切る

湯本小五年 田代 大輝

● なつやすみいいこといっぱいうれしいな

牧本小一年 芳賀ゆずき

● たのしいのてるてるぼうずわらってる

牧本小三年 猪越 愛華

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」について ～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となりますが、この社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方については、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が11月上旬頃に日本年金機構本部から郵送されておりますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（又は領収証書）を添付してください。

また、10月1日以降に、今年はじめて国民年金保険料を納付された方については、来年の2月上旬頃に送付されます。

なお、紛失等により再発行が必要な場合には、下記までご連絡をお願い致します（ご連絡をいただいてから、おおむね1週間程度でお送りいたします）。

<控除証明書専用ダイヤル電話番号> ☎0570-070-117 (ナビダイヤル)

- ※ 一般固定電話の場合、市内通話料金のみでご利用いただけます。携帯電話の場合は、全額お客様負担となります。
- ※ IP電話等の方は、「☎03-6700-1130」へお電話ください。こちらの番号の通話料金は全額お客様負担となります。

<受付期間> 平成25年3月15日迄

- <受付時間>** ○月曜日～金曜日：午前8：30～午後5：15
ただし、月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）は午後7：00迄
- 第2土曜日：午前9：30～午後4：00
※ 祝日、12月29日～1月3日は、ご利用いただけません。
※ おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

お近くの年金事務所でも受付しています。再発行の手続きの際には、年金手帳など基礎年金番号が分かるものをお手元にご準備ください。

◆日本年金機構 郡山事務所 ☎024-932-3434 (代表)

県内自主避難者への借上げ住宅支援について

福島県では現在、災害救助法の支援の対象になっていない県内自主避難者の借上げ住宅支援について、左記のとおり実施します。

○対象世帯

平成23年3月11日以降、平成24年11月1日までに県内に自主避難した世帯のうち子ども又は妊婦のいる世帯

○入居期間

平成26年3月31日まで

○受付期間

平成24年11月15日から12月28日まで

ただし、県外へ自主避難した子ども又は妊婦のいる世帯が、県内へ戻る場合については、当面の間受付を行います。

○家賃週及

家賃週及は行いません。

県の家賃負担は、借上げ住宅の入居申し出を市町村が受付した日から対象とします。

○受付窓口

避難元（従前の居住地）の市町村

○その他

・自主避難世帯とは、東京電力福島第一原子力発電所事故による避難指示等が出ている地域外から避難している世帯又は住宅が全壊、全焼もしくは流

出などで居住する住宅がない世帯以外の世帯です。子ども又は妊婦のいる世帯とは、平成24年11月1日時点で、子ども（平成23年3月11日時点で18歳以下）又は妊婦の方がいる世帯です。

市町村を越えて避難した場合で、放射線量の高い場所から低い場所への転居を対象とします。

その他、入居要件がありますので、詳しくは住民福祉課福祉係か県の窓口にお問い合わせください。

◆住民福祉課福祉係
☎82-21115

◆本支援の制度の考え方等に関すること
福島県生活環境部避難者支援課
☎024-1521-8306

◆本支援の契約・支払い等に関すること
土木部建築指導課分室2
☎024-1521-15764

冬期間の通行止めについて

今年も例年同様、積雪のため道路の一部が通行止めになります。県道羽島福良線・矢吹天栄線・十日市矢吹線・村道羽島1・2号線・黒沢線・林道河内線が通行止めになる予定です。期間は平成24年12月14日（金）から平成25年4月26日（金）までを予定しています。

◆地域整備課事業係
☎82-12113

除雪作業にご協力をお願いします

村内の国・県道は須賀川土木事務所、村道は村が実施します。通勤通学の安全確保のため、深夜・早朝に除雪作業を行うため、騒音・振動で迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。また、除雪車が通った後、どうしても各戸の出入口などに雪が残ってしまいます。玄関先や歩道は地域または各家庭で除雪をして頂きますようお願いいたします。その際、道路への排雪は交通事故のもととなりますので、絶対にしないようお願いいたします。

◆須賀川土木事務所
☎75-3196

◆地域整備課事業係
☎82-21113

「農業振興地域整備計画」の総合見直しのお知らせ

21世紀を迎え、農業を取り巻く情勢は、高齢化による担い手の減少や、耕作放棄地の増加、そして原発事故による放射能の影響により大変厳しい現状にあります。

こうしたなか、将来にわたって本村の農業の継続的な発展を目指し、各地域の情勢に応じた農業施策の計画的な推進と優良農地の確保・保全を図るため、村では平成26年度前期の策定をめぐり「農業振興地域整備計画」の見直しを進めていく事としていきます。

◆産業振興課 農地係または農業委員会
☎82-12102

ご支援に心から感謝申し上げます

【一般寄附金】
株式会社ホンシュウ
代表取締役社長 小山 邦弘 様
(鏡石町) 200,000円

【がんばれ天栄応援寄附金】
谷合 正宣 様
(東京都八王子市) 100,000円

【がんばれ天栄応援寄附金、こども未来寄附金】
金子 義輝 様
金子眞理子 様
(埼玉県さいたま市) 100,000円

※このほか、匿名により2件 130,000円の寄附を頂いております。

へるすぴあ掲示板

12月の開催予定

- 4日(火) 9~10か月児健診・ブックスタート事業(午後)
- 7日(金) 赤ちゃんふれあい体験学習(湯本中) 献血バス運行日
- 10日(月) 食生活改善推進員活動(午前~)(手作りおやつ試作)
- 15日(土) 大腸がん乳がん子宮頸がん検診無料クーポン券使用終了日(無料クーポン券をお持ちの方は早めに受診してください) なかよしくらぶ☆クリスマス会(午前)~サンタさんがやってくるよ!~
- 17日(月) WBC(ホールボディーカウンター)検査※
- 22日(土)
- 23日(日)
- 25日(火)
- 28日(金) 平成24年度高齢者インフルエンザ予防接種助成終了日

◆住民福祉課健康増進係(へるすぴあ) ☎82-3800 FAX82-3545

わんぱく広場毎週月水金で開催中!

*** 年末年始の営業について ***
12月28日(金)~1月4日(金)まで浴室・トレーニングジムは休館となります。

※【今回のWBC検査の対象者】
●前回検査日(今年2月~3月検査)以降、4歳に到達したお子さん
●妊婦の方
●前回未検査の高校生等(平成4年4月2日~平成20年4月1日生まれで、今までにこの検査を受けていない方)
●上記以外の一般住民で希望する方

ご結婚おめでとう

- 佐藤 尚也・優理 夫妻
夫旧姓：鈴木 大里中部
- 春日 雄一・明花 夫妻
妻旧姓：菅野 大里中部

こんにちは赤ちゃん

- 佐藤 央くん 兄 渡
保護者：智也・諒子 誕生日：10月7日
- 真船 蒼大くん 上松本
保護者：学・望 誕生日：10月9日
- 太田 咲希さん 西 郷
保護者：隼人・昭子 誕生日：10月16日
- 森 隆翔くん 下松本
保護者：隆博・彩 誕生日：10月30日
- 増子 祐大くん 上松本
保護者：敬則・春香 誕生日：10月31日
- 石塚 楓河くん 大里南部
保護者：直也・若奈 誕生日：11月2日

お悔やみ申し上げます

- 古川 武雄(94) 喪主 古川 崇雄 中 郷
- 廣川 栄子(82) 喪主 廣川 正人 西 郷
- 内山 フヨ(83) 喪主 内山 一利 沖 内
- 大河原政幸(72) 喪主 大河原勝幸 飯 豊
- 邊見 勝喜(83) 喪主 邊見 ヨシ 大 山
- 畠山 富成(79) 喪主 畠山 幸則 飯 豊
- 芳賀 キイ(94) 喪主 芳賀 喜博 下松本
- 森 シク(83) 喪主 森 次雄 中 郷
- 須藤 イネ(88) 喪主 須藤 政浩 大里中部
- 石井 綾子(81) 喪主 石井 正和 大里南部

この覧への記載を望まない方は届け出の際に戸籍窓口へ申し出てください。

福島県民手帳・福島県勢要覧の申込みを受付中！
(平成 25 年 1 月 31 日(木)まで)

2013「福島県民手帳」(別冊付)
500 円 (税込)

(表紙) 濃紺またはさくら色ビニール発泡シート
(規格) 8 cm×14cm 218 ページ
(別冊) 県内郵便番号、郵便料金表、印紙税額一覧、住所録など

- ・月間ダイアリー(濃紺は横罫タイプ、さくら色はカレンダータイプ)と週間ダイアリー
- ・充実した統計データ(全国から見た福島県、都道府県勢一覧、県内市町村勢一覧など)
- ・日常生活に役立つ便覧(災害発生時の連絡先、年齢早見表、くらしの相談窓口、県庁・県出先機関一覧、主要国機関など)

平成 24 年版「福島県勢要覧」
1,500 円 (税込)

- ・県勢全般がわかるコンパクトな総合統計書(わかりやすい図表入り)
- ・県及び県内市町村の最新統計資料を網羅

<主な内容>

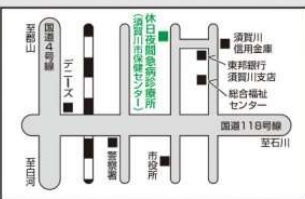
自然、人口、産業、所得・物価・地価、行財政、福祉、環境、教育、観光など
県内市町村勢一覧、都道府県勢一覧、社会生活統計指標

(規格) B 6 判 約 300 ページ
(編集) 福島県統計課

◆総務課総務係 82-2111



須賀川地方休日夜間急病診療所診療のお知らせ



※18歳以下の方は、「子ども医療費受給資格者証」をお持ちください。
※当日の担当医等については、☎0248-76-2980へお問い合わせください。
※診療所ホームページ
<http://www.city.sukagawa.fukushima.jp/kenkou/index.html>

#8000をご利用ください!!

夜、お子さんの具合が悪くなったとき、「#8000」にダイヤルすると、相談窓口につながり、症状に合わせたアドバイスを受けられます。(つながらない場合は☎024-521-3790を利用してください)

受付時間・診療時間・診療科目

区分	受付時間	診療時間	診療科目
月曜日～金曜日	19:30～21:45	19:30～22:00	内科・小児科
土曜日	18:30～20:45	18:30～21:00	
休日(日曜・祝日)	9:00～11:30	9:00～12:00	内科・小児科
	14:00～16:30	14:00～17:00	
	18:00～20:30	18:00～21:00	

年末年始の診療時間

12月30日	7:30～10:00	1月2日	9:00～12:00
12月31日	9:00～12:00	1月3日	9:00～12:00
1月1日	14:00～17:00		

ひとりで悩んでいませんか

「12月の心の健康相談会」

対人関係、子育て、うつ症状、家族の悩み、こころの治療に関する事など、どんな小さな悩みや不安にも対応します。悩みが大きくなる前にお気軽にご相談ください。

開催日	開催時間・場所	カウンセリング担当
12月7日(金)	午前8時30分～12時00分(へるすびあ)	心理カウンセラー 高橋 伸先生
18日(火)	午前8時30分～12時00分(へるすびあ)	(女性)

※「出前講座」(講話、リラクゼーション実技等)や「訪問相談」も受け付けます。
※上記日程で都合が悪い場合は、下記へご相談ください。

一申込み、相談予約は、☎82-3800(へるすびあ)まで

12月・1月の 行事予定

今月・来月の納期

納期限 12月25日(火)

●村県民税(4期)

納期限 12月26日(水)

●後期高齢者保険料(5期)
●介護保険料(7期)
●国民健康保険税(7期)

納期限 1月4日(金)

●12月分排水処理
施設使用料

忘れずに
納めましょう

12月

10日(月)

●年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動(～1月7日)

21日(金)

●幼稚園、小、中学校第2学期
終業式

1月

6日(日)

●天栄村消防団出初め式
ところ 開発センター前駐車場

8日(火)

●幼稚園、小、中学校第3学期
始業式



広報に掲載されている写真を無
料で差し上げます。
総務課総務係 ☎82-2111



年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

スローガン「ゆうやけが きえないうちに ライトオン」

- 期間 12月10日(月)～1月7日(月)の29日間
- スローガン 「ゆうやけが きえないうちに
ライトオン」
- 運動の重点
 - 1 飲酒運転の根絶
 - 2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
 - 3 すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



この時期は、夜間・夕暮れ時に外出する機会や、忘・新年会などでお酒を飲む機会が増える時期です。夜間に外出をされる場合は、明るい服装と夜光反射材を身につけるように心がけてください。ドライバーの方は、思いやりのある運転を心がけ、早めのライト点灯をお願いします。また、お酒を飲んだら絶対に車を運転してはいけません。

村民の皆さん、交通ルールをよく守り、交通事故に遭わないよう起こさないようくれぐれもご注意ください。
◆天栄村交通対策協議会・天栄村交通安全母の会(役場総務課内) ☎82-2111

わたしたちの村

(11月1日現在 現住人口)

🏠 世帯数	1,668 戸(+ 5)
👤 人口	6,019 人(+ 2)
♂ 男	2,961 人(+ 6)
♀ 女	3,058 人(- 4)

編集後記
☆11月18日のふくしま駅伝の取材中、冷たい風が吹き荒れる厳しいコンディションの中、少しでもはやく選手たちの姿に胸が熱くなるがありました。実は私も出場経験があり(10年も前ですが)、中継所でカメラを構えながら当時のことを懐かしく思いながら応援しました。また、村内のコメ農家の方が栽培した「天栄米」が、米・食味コンクールの国際大会で最高賞の金賞に輝くなど、ほんとうにさまざまに活躍されているんだなあと改めて実感しました。今後ともみなさんのご活躍をお伝えできればと思います。(菊地)